かべ新聞	第153号	ＪＲ東海労働組合
	2023年 2月23日	新幹線地方本部 東京車両所分会

春闘、第１回団体交渉開催される！

ベア１０，０００円、定期昇給６，０００円、夏季手当３．５ヶ月を勝ち取ろう！

２月20日、ＪＲ東海労と会社の第１回団体交渉が開催されました。

組合側は、「１月３０日に発表した令和５年３月期、第３四半期決算では連結で１，８０６億円もの利益を計上した。昨年同期比から見ると、赤字から黒字へと飛躍的に経営が改善した」

このことは、新型コロナウイルス感染症がまだ終息が見えない中で、組合員・社員は感染に怯えながら業務に就き奮闘し努力した結果である。しかし、会社はその奮闘に報いることもなく、昨年期末手当を２．７ヶ月という低額に抑え込んだ」

「ロシアによるウクライナ侵攻により石油をはじめとしたエネルギー資源の電気・ガス等の高騰により光熱費の拡大を招いている」「役員報酬は自主返納を止め、高額な報酬を維持している。また、リニア中央新幹線建設を進めていることからすれば、組合の要求に応える経営体力は十分あると考える」等を主張しました。

ＪＲ東海ユニオン組合員の皆さん！要求額に満足してますか？

ＪＲ東海ユニオンの春闘での要求は、ベア３，０００円＋調整手当相当額１，０００円、夏季手当は２．７ヶ月です。調整手当相当額とは何んで必要なのでしょうか？ベア要求は３，０００円なの？４，０００円なの？

また、期末手当も昨年の年末手当は２．７ヶ月となりましたが４回連続で２．２ヶ月に押さえられました。相次ぐ食料品・日常品の値上げ、電気代・ガス代・燃料費の高騰で生活は苦しくなっている中での要求です。ＪＲ東海ユニオンの皆さん！あまりにも低い要求と思いませんか？わからないことは役員に聞きましょう！

物価上昇、社員・組合員の苦労に見合った賃金を獲得しよう！